

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2023. 9. 21 NO. 386

連絡先 荻窪5-15-19-704

☎ 080-5531-8236

区議会控室 ☎ 3312-2111 (内) 2319



↑ ホームページ



区議会第3回定例会 一般質問

国保料 値上げ抑制へ 区の努力を求める

第3回区議会定例会で「国民健康保険」と「住宅施策」について一般質問しました。

保険料値上げの要因は、国・都の大幅な財政削減

今年度、国民健康保険料は大幅な値上げとなりました。たとえば、年収400万円40代夫婦と子ども2人の世帯の年間保険料は54万円余で年収の14%にも達します。この世帯の2010年度の保険料は24万7千円余で年収の6・2%でした。13年間で2倍以上の値上げです。

国保料の値上げが毎年押しつけられる要因の一つは、国・都が財政責任を果たしていないことです。私の質問で、杉並区の

国保会計の歳入決算額に対する国と都の支出金が激減していることが浮き彫りになりました。さらに、国は国保改革で財政投入を拡充した

国保会計の歳入総額に対する
国庫支出金、都支出金の比率

年度	国庫支出金比率	都支出金比率
1975年度	55.32%	23.95%
2017年度	18.97%	5.76%



9月12日、本会議場

としていますが、過去の私の質疑で、国と都の負担は19億円減額となったことは、区自ら認めています。来年度の保険料を検討するにあたって、国・都にに対し、財政負担の強化を求めるべきと迫りました。

区長が答弁に立ち『特別区長会から、保険者に対する更なる財政支援や、被保険者の負担軽減策の拡充などについて要望している』と答えました。

一般会計からの法定外繰入継続を

値上げのもう一つの要因は、国が自治体に対し、保険料の値上げを抑えるために行っている一般会計からの法定外繰入を令和6年度までに廃止せよと迫っていることです。繰入が廃止になれば保険料は大幅に値上がってしまいます。国と都の財政支援が拡充されない限り、高すぎる保険料の抑制のためには、区が財政支援をすることが不可避です。来年度の保険料検討において、法定外繰入も含め対応するよう求めました。

区は『法定外繰入は、保険料の上昇を抑制する場合だけでなく保険料の収入不足等の充当財源となつているため必要になる』と答えました。引き続き、保険料の値上げ抑制のために、力を尽くします。

共産党区議団の国保料アンケートに寄せられた声

- 「あらゆる物価が高くなり支出が負担になっている。国保料の値上がりも負担である」
- 「退職し、協会けんぽから移行した。国保料が高く将来への不安を覚えた」
- 「映画、演劇等文化費への支出が少なくなり、ゆとりがなくなっている」
- 年金から国民健康保険料が差し引かれて年金額が減って、物価の値上もあり、食費、医療費を切り詰めています。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

公営住宅の拡大、家賃助成早期実施を迫る

高い家賃に苦しむ区民の叫びを受け止めよ

杉並区は、23区のなかでも借家世帯が多く、その大半が民間借家で、かつ公営住宅が少ないことが特徴です。（下表）

共産党区議団のアンケートには「家賃の支払いが大変」「公営住宅に入れない。物価高騰が家計を直撃し、家賃の工面に苦労している」などの声が多数寄せられています。

私は、こうした区民の叫びを正面から受け止め、①公営住宅戸数の拡大、②民間賃貸住宅入居者への家賃助成の実施、この二つを柱に、住宅施策に取り組みべきと迫りました。

区は、『区民の生活実態の把握や様々な声を真摯に受け止め、必要な施策を検討していかねばならない。公営住宅の提供や家賃助成の検討など、住宅施策を着実に推進していく』との認識を示しました。

物価高騰のいまこそ、家賃助成実施を

岸本区長のもとで、来年度の家賃助成の創設に向けて検討が進められています。物価高騰が深刻な今こそ実施に踏み出すべきと、今年度中の実施を求めました。

区は『規模や助成期間、金額、対象など様々な課題があり、検討には一定の期間が必要。来年度実施に向け検討を進めており、『ご理解いただきたい』と答弁しました。』

	杉並区	23区
住宅総数に占める 民営借家の割合	50.1%	43.5%
借家数に占める公 営借家の割合	2.2%	6.3%



9月に観た舞台と映画。

★「星をかすめる風」

青年劇場の公演。韓国の国民的詩人、ユン・ドンジュが日本に留学中、治安維持法違反で逮捕され、福岡刑務所で最期の日々を描いたフィクション。

★「シモーヌ フランスに最も愛された政治家」アウシュビッツでの壮絶な体験を生き抜き、人権のためにたたかった政治家シモーヌ・ヴェイユ。

どちらも人間の尊厳を問いかける作品でした。

9月はがん制圧月間 がん検診を受けましょう

杉並区では、以下のとおり、がん検診を実施しています。がん発見の機会を逃さないために、定期的な受診をおすすめします。詳細は区ホームページ（右2次元コード）をご覧ください。



		受診対象(※)	費用 (自己負担額)	受診間隔
胃がん	(胃部エックス線検査)	50歳以上の方	500円	毎年
	(胃内視鏡検査)		1000円	2年に1度
肺がん		40歳以上の方	500円 (65歳以上無料)	毎年
大腸がん			200円	毎年
子宮頸がん		20歳以上の女性	500円	2年に1度
乳がん		40歳以上の女性		

※年齢は6年3月31日時点。

●検診車で乳がん検診を受診できます

早期の乳がん発見には、マンモグラフィーによる検診が有効です。区では、平日の受診が難しい方などを対象に、検診車で乳がん検診を実施します。詳細は、区ホームページ（右2次元コード）をご覧ください。



日時 9月30日(土) 午前9時～午後3時30分
問 杉並保健所健康推進課健診係 ☎3391-1015